

西合志中央小学校施設検討資料

第1回 委員会資料

～児童増と施設老朽化への対応、将来に向けた教育環境の整備について～



合志市学校教育課 総務施設班

●はじめに（本委員会の目的）

【現状の認識】

⇒合併後20年間で児童数が474人増加（388人→862人）

⇒校舎（管理教室棟）の老朽化と職員室・会議室・普通教室のスペース不足

【本委員会の目的】

⇒山積する課題を整理し、最も合理的かつ効果的な整備手法を協議のうえ、教育委員会へ提言する。

●西合志中央小学校を取り巻く現状①（児童数推移）

【都市計画の背景】

市街化調整区域ながら、集落内開発制度や近隣（TSMC等）の影響で宅地開発が継続。

【児童数の変遷】

- ・合併当初（H18）388人から現在（R8）862人となり、474人の増
- ・児童数ピーク予想 R11年度に932人

●合併後からの西中校区児童生徒数の推移（各年度5月1日時点）

【資料1】

西合志中央小学校	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
児童数	388人	404人	422人	414人	416人	457人	482人	493人	527人	544人
学級数	14	15	16	15	15	16	17	19	22	24
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
児童数	606人	642人	669人	733人	734人	759人	765人	801人	839人	828人
学級数	24	26	27	26	27	29	30	32	34	33
	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
児童数	862人	895人	918人	932人	921人	918人	912人	905人		

●校舎施設・設備の課題

【普通教室の不足】

・過去7回の増築を行ってきたが、これ以上の増築スペースは無い

【体育館の面積不足】

・児童数862人に対して660㎡の体育館保有面積。国基準は1,215㎡

【職員室の面積不足】

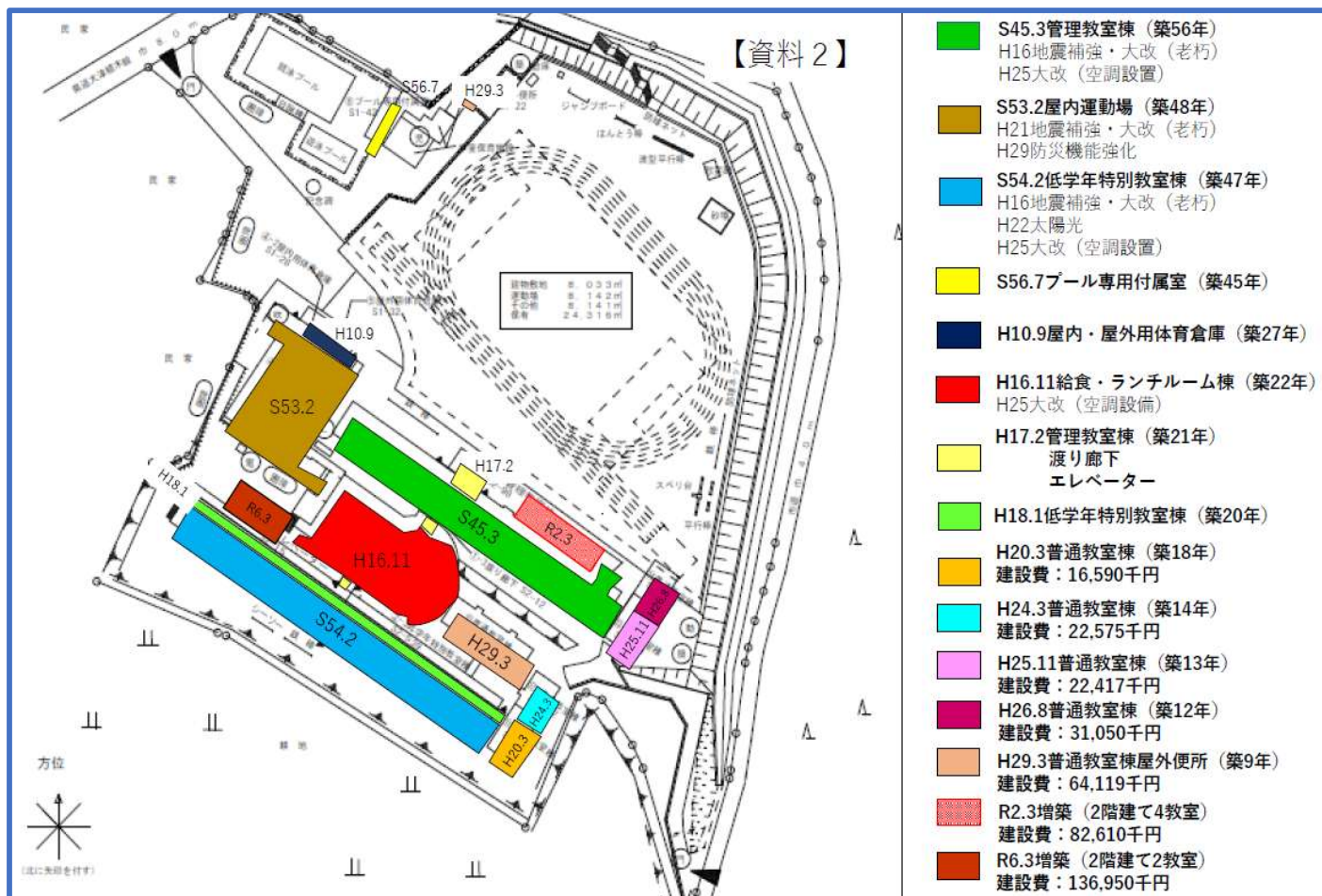
・職員1人当たり標準5㎡に対し、現在は約3㎡（1坪以下）と狭小

【施設の老朽化】

・管理教室棟は築56年。目標耐用年数（60年）が目前に迫る。

【構造的な問題】

・過去7回の増築により校舎配置が入り組み、避難経路等が複雑化



●西合志中央小学校を取り巻く現状②（児童の分布と安全面）



【偏る居住エリア】

- ・全児童の約70%が「若原・大池・東大池」の3区に集中。特に若原区は500人が在住。

【登下校の課題】

- ・東側「さくら門」へ児童と教職員車両が集中し、交通事故のリスク。
- ・スクールバスの乗降場所が校内に無く、教職員の学外引率負担が増大。